

# 北海道身体障害者新聞

発行人 (社)北海道身体障害者福祉協会 赤坂勝  
札幌市中央区北2条西7丁目(かてる2-7)  
電話 011-251-1551  
ホームページ www.hokusinkyo.or.jp  
北海道障害者社会参加推進センター  
電話 011-251-9302  
毎月 25日発行  
会員購読料(年) 360円  
非会員 同 2,000円

## 「北海道の水田発祥の地」の北斗市で 第五十七回全道身体障害者福祉大会

北海道身体障害者福祉協会・北斗市身体障害者福祉協会主催、北斗市・北斗市社会福祉協議会共催の「第五十七回全道身体障害者福祉大会」が十月二十五日(土)～二十六日(日)の二日間、約六百六十名が参加して北斗市総合文化センターでなされる。で盛大に開催された。

同大会は、大会推進委員会及び実行委員会で諸準備が進められ、当日は北斗市と函館市の高校生を含む市民延べ三百名のボランティアに支えられ、素晴らしい大会になった。

### 《大会一日目》

午後一時から、北斗市大野中学校生徒四十三名によるマーチングバンドが華やかに練り広げられた。スカボロー・フエアなど三曲が演奏され、カウガードの優雅な演技とともに会場から大喝采を浴びた。



大野中学校生徒のマーチングバンド



赤坂勝大会長

続いて政田一美副大会長(北身協副会長)による開会のことばで全道大会が開会した。初めに主催者挨拶として赤坂勝大会長(北身協会長)から、「六十名の参加者、準備に当たられたボランティア、関係の皆様、感謝を述べ、全国で障害者自立支援法に大きな悲鳴が上がっており、分科会の中で道内の障害者に役立つような討議をして参りたい。年に一度の大会であり皆さんの話を聞かせてほしい」

と挨拶した。

### (全体会議)

続いて議長団の政田一美・荒川繁雄両副大会長(北身協副会長)の進行により全体会議が開催された。和田真一北身協常務理事から「第五十六回弟子屈大会要望事項処理報告」が行われた。また助言者として北海道保健福祉部福祉局長の野村了次長と同局障害者保健福祉課の柏木博樹主任が紹介された。



助言者の道保健福祉部福祉局長(左)野村了次長(右)柏木博樹主任(左)荒川繁雄氏(右)政田一美氏

(講演)

午後二時からDPI北海道ブロック会議西村正樹議長から、「障害者の権利条約について」と題して講演が行われた。講演は、条約制定の意義や国内法への影響、条約の理念・目的、今後の課題等について、参加者が理解しやすいように懇切丁寧に行われた。「健常者には当たり前だが障害者に情報保障がない

と同じスタートラインに立てないものである。例えば要約筆記、手話、点字などの情報保障により機会均等、平等になるものであり、このような「合理的配慮」を行わないことが差別である。当たり前前の生活、普通の生活を回復するために過度な負担を求めない範囲での「合理的配慮」をしなければならないと言っており、これが従来とは違う画期的な考え方である」と等と講演した。



西村正樹氏

### (分科会)

午後三時から、総合・肢体・聴覚分科会(議長団川山征治・堂前文男北身協理事)と視覚分科会(同川山征治・森正裕道視連副会長・島信一朗理事)に別れ、各団体から提出された議題について審議が行われた。総合等分科会では「グループホーム等の新築、改修に係る助成制度の確立について」、「北海道主催イベントの要約筆記及び手話通訳について」、「病院における視覚的表示について」、「駐車禁止除外指定車標準章交付対象改正の見直しについて」、「身体障害者等駐車禁止除外指定撤廃について」、「障害者の市町村における選挙に関するアクセスの義務化について」、「障害者が運転する車に表示する標識マークについて」、「高速道路割引について」の八項目が、視覚分科会では「視覚障害者向けサービス」の地方格差是正について、「障害者の



総合等分科会議長(左)堂前文男氏(右)川山征治氏



視覚分科会議長(左)森正裕氏(右)島信一朗氏

権利に関する条約の批准等について、「タンDEM自転車の公道での使用規制緩和について」、「有料道路料金割引の簡素化について」、「国及び地方選挙の広報における公的保障について」の五項目が審議された。提案者からの趣旨説明の後活発な議論が交わされ、何れも提案通り翌日の全体会議に諮ることが決められた。その後助言者からのコメントがあり、分科会が終了した。

### 《大会二日目》

初めに各分科会議長団から前日の審議の結果が報告され、何れも報告どおり採択となり、取り扱いは大会推進委員会に付託することが決められた。続いて大会宣言(案)が左京信二北身協監事から、大会決議(案)が中西昭夫同理事から提案され、満場の拍手で採択された。

障害者自立支援法を始め年金問題、後期高齢者医療問題等が山積しており、道内最大の障害者団体として、ごく普通の社会参加と平等を求め、障害者も健常者もない「共生の時代」を実現するための政治と行政を求めて活動して参る」と挨拶した。その後海老澤順三北斗市長の歓迎挨拶があった。それから表彰式が行われ、北海道善行賞(知事表彰)の自立更生者四名、自立更生者六名、北海道身体障害者福祉協会会長表彰の自立更生者二十一名、援護功労者二十五名に表彰状と記念品が贈られた。



表彰状を贈呈される受賞者の皆さん

一 障害者自立支援法のさらなる見直しをはかる  
一 障害者基礎年金の増額など所得保障を充実しよう  
一 障害者の就労の促進、雇用・職域の拡大と支援をはかる  
一 障害者権利条約の早期批准を実現させよう

### (式典及び表彰式)

午前十時二十分、関口岩男副大会長(北斗市協会展長)の開会のことばで式典が開幕し、国歌斉唱と黙祷の後、赤坂勝大会長が「永年の福祉活動や御自身が障害を克服され御努力されたことが評価され、表彰される皆様方に心からお祝いと感謝を申し上げ、地域での一層の御活躍を御祈念申し上げる。今直ちに解決しなければならぬ



澤田カツエ氏

続いて、祝辞が北海道知事(代理畑秀叔渡島支庁長)、北海道議会議長(代理長尾信秀北海道議会議長)、小泉征男北斗市議会議長、北海道社会福祉協議会会長(代理藤田裕行総務部長)から行われ、祝電披露の後、受賞者を代表して澤田カツエ氏(森町)から「私たちの自立更生活動や援護活動が認められ表彰されたのは、身に余る光栄であり、多くの関係者や家族の励ましの賜物と深く感謝します。これからの障害者の自立と更生援護のために力を尽くして参ります」と謝辞が述べられた。

## 社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所  
代表取締役 関 守  
札幌市中央区南三条西六丁目  
電話代表(011)241-0986

札幌義肢製作所旭川支店  
支店長 舛田裕司  
旭川市五条通十二丁目  
電話(0166)241-5333

有限会社 野坂義肢製作所  
札幌市中央区南三条東四丁目  
電話(011)221-1406

有限会社 河笠義肢製作所  
小樽市長橋四丁目七番二十九号  
電話(0134)211-3042

株式会社 馬場義肢製作所  
函館市豊川町一五の二  
電話(0138)311-2656

株式会社 田村義肢製作所  
札幌市中央区北四条東五丁目  
電話(011)241-2777

有限会社 三愛義肢製作所  
岩見沢市志文町九二三番地二六  
電話(0122)211-6433

株式会社 協和義肢製作所  
岩見沢市三条西八丁目  
電話(0122)311-3739

有限会社 美唄義肢製作所  
代表取締役 松田清勝  
美唄市東七条北四丁目七番九号  
電話(0126)611-9311

有限会社 千葉義肢製作所  
釧路市若草町七番二号  
電話(0154)211-3811

「協力」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

# 身体障害者・知的障害者相談員専門研修会

北海道・北海道身体障害者福祉協会主催の「平成二十年度身体障害者・知的障害者相談員専門研修会」が十一月十日(月)に、札幌市内の道民活動センターで開催された。

この研修会は、全道の身体障害者相談員と知的障害者相談員が、障害者からの更生支援に関する相談に際して必要となる知識、面接技術等の習得の機会を設け、相談員の全道統一的な資質の向上を図ることを目的として毎年開催している。



荻野弘幸主幹

開会に当り、主催者の北海道保健福祉部障害者保健福祉課荻野弘幸主幹が、「障がいのある方にきめ細かな支援を行うに当たっては、地域における身近な相談者である皆様方の役割は非常に重要であり、障がいのある方々ご家族の様々な悩みや問題の解決に向けて、適切な助言等を行われるようお願いする。今回の

研修で学ばれた知識や技術を、できるだけ多くの関係者に広めてほしい。」と挨拶した。

## 《行政説明》



高濱勝則主査

同課地域支援グループ高濱勝則主査から、「障害者相談員」等について説明があった。道内の身体障害者相談員の配置数は四一八名、知的障害者相談員は二〇七名で、障害者への相談支援活動はもとより、社会参加促進等の地域活動の担い手、行政とのパイプ役として重要な役割があること。また今年三月末での身体障害者手帳交付者数が二八九、六九二名、療育手帳交付者数が四一、一一〇名である等と説明した。

# 町村協会だより④2 (空知支庁管内沼田町) 十年毎の記念式開催・記念誌発行続ける

第四十二回目として紹介します協会は、空知支庁管内の北部に位置し、NHK朝の連続テレビ小説「すずらん」のロケ地となった町で、雪を冷蔵に利用して鮮度を保つ「雪中米」が特産物の一つになっている町の沼田町身体障害者福祉協会(澤田秀雄会長)です。

町から補助金を支給するのを組織を結成してはと呼びかけられ、昭和三十八年に二十三名の有志により設立



定期総会の様子

## 主な年間行事及び活動内容

- ▼一月：新年交礼会
- ▼二月：定期総会
- ▼三月：新しい条例等の研修会
- ▼四月：空知支庁地区協会総会へ出席



空知管内スポーツ大会参加

「障害者の権利と法律」と題して、札幌弁護士会の竹田美由紀弁護士から講演があった。講演内容は、法律、財産管理、消費者被害、犯罪被害を受けた場合の対処等広範囲にわたった。



竹田美由紀弁護士

「財産管理」成年後見人は基本的に親族が多いが、トラブルを防ぐため弁護士等第三者に依頼する例も多い。親族間の犯罪は発覚しにくいので、親が健在のうちで申立てをしておくことも大切。身寄りのない人の財産侵害に対しては、申立てにより市町村長が後見人になり対抗することが出来る。「消費者被害」契約の意味を理解していない場合は契約の不成立となるが、裁判では認められにくいので、早めの対応が重要である。「借金への対処」借金したこと

で戻ることもある。「障害者権利条約について」と題して、DPI北海道ブロック会議の西村正樹議長から講演があった。これまでの国際的な人権・権利に関する条約は八つあるが、障害者権利条約ほど当事者が参加・議論して作られた条約はない。「私たちのことは私たちが抜きで決めてはならない」との障害者の主張により、条約内容の実に八割は障害者や家族の意見が取り入れられたものである。条約の特徴的な内容として、障害と障害者の定義が上げられる。○障害(ディスアビリティ)とは「徐々に発展している概念である。○障害者とは長期の身体的、精神的、知的又は感覚的な機能障害(インペアメント)のある人を含み、これらの機能障害は種々の障壁と相互に作用することにより、他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げることがある」と定義している。



西村正樹議長

「健全者との海水浴交流」「町内清掃活動への参加」「相談員等による巡回訪問活動」沼田町身体障害者福祉協会PR 同協会では、数々の取組みを積極的に実施しており、会員が参加出来ない際は、家族の参加を認めるなど、幅広く交流を深めています。また、十年毎に記念式の開催及び記念誌の発行を行なっております。

道立心身障害者総合相談所相談判定課米田浩二相談係長の研修講義「障がいのある人たちの相談・面接のあり方」が行われた。面接に際してはコミュニケーションが最も重要であり、人権に配慮、秘密厳守、傾聴、共感の姿勢で臨むこと。相手の話しを上手に聞くことは簡単なようで難しいが、「私の話を聞いてくれた」とのこと。自分で解決しようとの気持ちになるもの等と講義した。



米田浩二係長

最後に受講者のアンケートに寄せられた感想を紹介いたします。障がいのある事で問題になつたり、やりたい事が制限されるなど、あつてはならないと思う。「障がい者」という人間ではなく、一人の人間として望む生活ができるように応援する仕事だったと改めて知った。支援の機関、法律など地域で支えている人々の存在を知ることができた。



障害者相談員の皆さん

## 文芸

### 短歌

由仁町 中嶋つぎ子  
一望のゴルフ芝生に影まれて  
飛び交う蜻蛉の羽光りつつ

### 俳句

恵庭市 西島 明  
秋草の影百態の淡さかな

### 川柳

芦別市 戸原 寿夫  
菊まつりドラマ篤姫大人気  
石狩市 田中 五郎  
きのこ汁コインを入れて占いし

- ▼五月：町内公園での花見会への参加
- ▼七月：空知支庁地区身障大会への参加
- ▼八月：身障パークゴルフ親睦会
- ▼九月：全道スポーツ大会への参加
- ▼十月：空知支庁地区身障役員及び職場開拓合同研修会参加
- ▼十一月：施設研修・交流会
- ▼十二月：年末ふれあいの集い



空知管内福祉大会参加



町内施設研修会

<p>安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店</p> <p><b>岩崎電子 補聴器センター</b></p> <p>本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド</p> <p>札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビルF</p> <p>新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F</p> <p>手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目</p> <p>旭川店 旭川市下通9丁目 キタノビルF</p> <p>函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル</p> <p>苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1</p> <p>室蘭店 室蘭市中島町3丁目25-1 TMビル</p> <p>お問い合わせ 0120-231-282</p> <p>本社 岩崎電子株式会社 札幌市中央区南2条西3丁目東南カド</p>	<p>印刷・クリーニング・縫製のご用命は</p> <p>社会福祉法人 <b>北海道リハビリ</b></p> <p>身体障害者授産施設 リハビリ・エイト</p> <p>身体障害者授産施設 リハビリ・クリーナース</p> <p>障害福祉サービス事業所 リハビリ・おおぞら</p> <p>障害福祉サービス事業所 セルブさっぼろ</p> <p>身体障害者授産施設 札幌ワークセンター</p> <p>地域活動支援センター ポブルス</p> <p>施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください 法人事務所 北広島市西の里507番地1 TEL (011) 375-2111 (代) FAX (011) 375-4051</p>	<p>NISSIN 株式会社</p> <p><b>ニッシン自動車工業</b></p> <p>北海道支店</p> <p>岩見沢市志文町九二二一 電話 (011) 261-2311 〇八〇五番</p> <p>リフト付き車両での移送サービスと障害者ヘルパー派遣 介護保険に関するお問い合わせ、お申し込みは</p>	<p><b>HOP ホップ障害者地域生活支援センター</b></p> <p>札幌市東区北二十条東一丁目五十一大西ビル一階 TEL (011) 748-1633 FAX (011) 748-1632</p> <p>クリーニングは光生舎 光生舎 クリーナース 光生舎 ワークショップ 光生舎 エルムクリーニング 光生舎 ライトスラザ 光生舎 メディック・エル 光生舎 クリーンセブン 光生舎 スラザインサッポロ 光生舎 虹の星 光生舎 虹の星デイサービスセンター 光生舎 フーレビル ケアハウス すいこう</p> <p>○施設の利用を希望される方は お気軽にご相談下さい。</p> <p>連絡先 (社)北海道光生舎 電話 0125-32-3221 電担 厚生部</p>	<p>リフト付貸切バス ハートケア福祉タクシー(ストレッチャー対応)</p> <p>株式会社 <b>ライフパス</b></p> <p>札幌市北區篠路一条八丁目六番三〇号 電話 (011) 777-1471 FAX (011) 777-1475</p>	<p>有限会社 <b>岩見沢義肢</b></p> <p>岩見沢市緑が丘二丁目八六番地八 電話代表 (011) 261-2311 一五五〇番</p>
---	---	---	--	---	---